


● ルル内服液〈麻黄湯〉

【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)

2. 短期間の服用にとどめ、連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 胃腸の弱い人
 - (4) 発汗傾向の著しい人
 - (5) 高齢者
 - (6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
 - (7) 次の症状のある人
むくみ、排尿困難

【解 説】

1. 本剤の適応となる症状は通常、丈夫な人にあらわれ、体の虚弱な人にはあらわれにくいものです。体の虚弱な人は発熱時に汗ばんでいることが多く、本剤を服用すると、マオウの強い発汗作用により、発汗過多、脱汗(大汗をかく)状態や心悸亢進が激しくあらわれることがあるので、体の虚弱な人は服用できません。特に高齢者の場合は注意が必要です。

2. 本剤はかぜの初期症状の治療を目的としており、漫然と長期連用すると副作用があらわれるおそれがあるので、症状がよくなった場合は服用を中止し、症状がよくなる場合は専門家に相談することが必要です。

1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔5〕参照
 - (3) 一般に、胃腸の弱い人は体力がなく疲れやすい傾向にあり、本剤中のマオウにより胃腸障害を起こすおそれがあります。
 - (4) 本剤は、発汗作用があるので、発汗傾向の著しい人が服用すると発汗過多や脱汗(大汗をかく)状態となるおそれがあります。
 - (5) 共通事項解説〔6〕参照
 - (6) 共通事項解説〔7〕参照
 - (7) 記載されている症状のある人は、下記のような理由で服用前に相談が必要です。
 - むくみ
カンゾウ中のグリチルリチン酸を大量に摂取すると、ナトリウム貯留、カリウム排泄促進が起こり、浮腫、高血圧、四肢麻痺、低カリウム血症等の症状があらわれるおそれがあります。
これらの症状は、偽アルドステロン症として報告されています。いずれも服用中止により緩解していますが、高齢者、高血圧、心臓病、腎臓病の人は注意が必要です。

→次のページに続く

● ルル内服液〈麻黄湯〉

【使用上の注意】

- (8) 次の診断を受けた人
 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感
その他	発汗過多、全身脱力感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1カ月位(感冒、鼻かぜに服用する場合には5～6回)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【解 説】

→1.(7)の続き

- 排尿困難
 マオウの主成分エフェドリンの交感神経刺激作用により、膀胱の緊張が減少することがあるため、症状が悪化し、さらに尿が出にくくなるおそれがあります。また、前立腺肥大がある場合には、尿閉があらわれるおそれがあります。

- (8) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがあるので、服用前に相談が必要です。

- 高血圧、心臓病
 マオウの主成分エフェドリンの交感神経刺激作用により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、高血圧、心臓病を悪化させるおそれがあります。また、カンゾウの作用により、血圧上昇等のおそれがあります。
- 腎臓病
 カンゾウ中の、グリチルリチン酸を大量に摂取すると、ナトリウム貯留、カリウム排泄促進が起こり、尿量減少、浮腫、高血圧、四肢麻痺、低カリウム血症等の症状があらわれ、腎臓病を悪化させるおそれがあります。特に腎臓病のある人は、一般に薬剤の排泄が遅く、マオウ等の作用が強くあらわれるおそれがあるので、注意が必要です。
- 甲状腺機能障害
 マオウの主成分エフェドリンの交換神経刺激作用により、甲状腺機能亢進症(動悸、発汗、手のふるえ、いらいら等)の症状を悪化させるおそれがあります。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに服用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

- 偽アルドステロン症、ミオパチー
 カンゾウ中のグリチルリチン酸の大量服用により起こることがあります。
 重篤な症状の解説〔9〕参照

3. 普通のかぜに使用する場合は通常5～6回の服用により症状の改善がみられますが、5～6回服用しても症状がよくならない場合は、本剤が体質に合わないか、他の疾患や合併症も考えられるので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

● ルル内服液〈麻黄湯〉

【使用上の注意】

【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・容量を厳守して下さい。
2. 本品は1回1本飲みきりです。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 本剤には生薬エキスが配合されているために、まれに沈殿を生じることがありますが、薬効には変わりありません。
5. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 本剤は1回1本飲みきりの用法・用量となっています。
ビンを開けたら分割服用せず、飲みきって下さい。
1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 本剤は生薬成分に由来する沈殿が起こることがあります。沈殿物は薬効成分ですので、ビンの底に残らないよう、よく振ってから服用して下さい。
5. 共通事項解説〔17〕参照